

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科
フィールドワーク・インターンシッププログラム 2011 年度 JASSO 派遣報告書

報告者氏名 紺屋あかり

2006 年度 (入学・編入)

1. 研究課題:

「ベラウ古典歌謡歌詞集の出版へのプロセス」

2. 派遣期間:

平成 2011 年 8 月 7 日 ~ 2011 年 11 月 3 日 (88 日間)

3. 今回の派遣により、申請時に自身の目的としてあげた点について得られた知見を述べてください

今回の調査では、歌詞集の出版を目的としたベラウ語の校閲や、歌詞内容の理解に関する補足調査の実施を目的とした。これまで報告者の収集した歌詞およそ 300 曲のうち、70 曲のベラウ語校閲と英訳を完了した。残りの歌詞についても、今後継続して作業並びに調査を実施する予定である。

今回の作業・調査を通して歌詞における知的財産性に関する議論の場が多くもたれたことは特筆すべきことである。古典歌謡は現在においても価値ある財産として認識されるものであり、無形文化継承をめぐる知的財産権に関する諸問題として今後の大きな課題となるだろう。また、こうした出版へ向けたプロセスから生じた議論、「口承伝承の継承をめぐる所有権ないしは財産性の所在」あるいは、「古典歌謡文化をとりまく政治性」などは本研究の中心的課題と密接に関係する内容である。出版をめぐる関係機関の議論は、本研究においても重要な知見を見出すものになるということが予測される。

4. 自身の今後の海外への渡航や留学に向けた課題や展望について

今後も調査の継続が必要となる。博士論文や歌詞集の出版準備に向けて、およそ 1 年間の長期的な調査の実施を計画している。また、オセアニア研究拠点ともいわれる太平洋研究センターを持つハワイ大学における文献調査の必要性もある。

IFACCA(International Federation of Arts Council and Culture Agencies)における文化会議への参加、オセアニア国際学会への参加なども計画に入れている。さらに、IAAPS(International Association for Asia Pacific Studies)など国際学会への参加や同学会誌への論文投稿なども今後の課題としたい。

5. 本プログラムに関して意見をお聞かせください。また、今後どのような留学プログラムがあれば参加したいですか？

国際機関や NGO などと本研究科 (プロジェクト) が提携するインターンシップなどがあれば参加したい。

署名